図画工作科学習指導案

呉市立三津口小学校 下重 千香子

1. 日 時 平成18年11月29日(水)

2. 学 年 第3学年 12名

3. 題材名 「ドキドキ! フワフワ!」

4. 題材について

本題材は、ビニル袋を息でふくらませ、それにスズランテープを何本か付けたものを飛ばす活動から新しい形態などを発想し、更に風を当てたときの面白さを考えながら造形活動をする題材である。

ビニル袋やスズランテープは児童の身近にある材料であり、クラゲや風船、タンポポの綿毛などフワフワするものは身の回りにいろいろある。何かが風に乗って空中をゆらゆら動く様子は、児童の関心を引き付け、興味を喚起するとともに、豊かな発想を引き出すと考えられる。

児童は、自分がつくったフワフワがどのように空中を泳いでいくか楽しむとともに、空中に美しく揺れながら高く舞い上がらせるためにどのような工夫をしたらよいか、手など体全体を使って一生懸命考えるであろう。例えば「美しくしよう」、「うまく舞い上がらせよう」と、スズランテープの数や長さなどを工夫しながら、付けては試し、外しては試し、自分らしい形や色のフワフワをつくっていくと考える。

一般に児童は、風船やビニル袋をふくらませて、飛ばしたり突き合ったりして遊ぶことが多い。本学級の児童も、ボール遊びや風船遊びは大好きである。また、休憩時間には、イラストを描いたり、どんぐりごまをつくったりして造形活動を楽しむ児童が多い。図画工作の学習における事前のアンケートでは「造形遊び」についても、すべての児童が好きと答えている。しかし、その一方で「『造形遊び』を始めたとき、何も思い付かなくて困ることがある」と感じている児童が75%近くいることが分かった。

指導に当たっては、最初、ふくらませたビニル袋にスズランテープを付けただけの単純な形で十分遊ばせる。その際、投げてみたり、飛ばしてみたりするなど、試行錯誤をさせながら、フワフワするものを連想させるようにする。また、「フワフワ」から連想するものを話し合わせ、自分なりのイメージをもたせるようにする。

材料に関しては、フワフワと浮かぶ軽いもので、児童の発想が広がり、表現したいものが実現できるような材料を準備する。

表現活動においては、つくったものをフワフワ空中に飛ばすためにどのような工夫をすればよいのか、どうしたら美しい形や色になるのかなど、試行錯誤を繰り返しながら絶えず発想が広がるように声かけをする。また、この過程を児童が楽しみながら活動できるように、楽しい発想や材料の特徴を生かした工夫などについて、個に応じて適切に評価する。自分のつくりたいものが思い付かず、つまづいている児童には、ていねいに話を聞き取り、表現のきっかけをつかませるように支援

する。表現活動の途中に、自分たちの工夫などを鑑賞する時間を確保し、友達とかかわることを重視する。場所から発想することをねらって、活動は天井の高い体育館で行うこととし、教室と異なる広くのびのびとした空間の中でダイナミックな活動になるようにする。

5. 題材の目標

自分が思い付いたことをもとに、進んで体や手などを働かせて材料や場所にかかわることができる。フワフワする材料や広い場所などをもとに、イメージをふくらませ、発想することができる。材料や場所の特徴を生かして、表したい形や色などで表現することができる。友達の作品と自分の作品に関心をもち、よさや面白さを見付け合うことができる。

6. 指導と評価の計画（全3時間）

次	学習活動（時数）	評価規準	評価方法
1	ビニル袋をふくらませ、スズランテープを付けたものをつくり、飛ばしてみる。（1）	関：ふくらませたビニル袋が空中に浮く様を楽しんで活動しようとしている。 発：フワフワ浮かぶ様子から連想し、自分のイメージを広げている。	発言 行動観察 制作過程 振り返りカード
2	材料の特徴を生かし、いろいろ試しながら、フワフワ浮かぶものをつくる。（2）本時	関：進んで体や手などを働かせ、材料や場所にかかわりながら活動しようとしている。 発：材料や場所の特徴をもとに、つくったり直したりしながら、自分らしい形や色を思い付いている。 創：材料の特徴を生かして工夫しながら、形や色を表している。 鑑：お互いの作品のよさや面白さを話し合うなどしながら見付けている。	行動観察 制作過程 振り返りカード

7. 本時の展開

(1) 本時の目標

進んで体や手などを働かせ、材料や場所にかかわりながら表現を楽しむことができる。（関）
材料や場所の特徴をもとにイメージをふくらませ、フワフワ浮かぶものから発想することができる。（発）
材料の特徴を生かして、試行錯誤しながら自分のイメージした形や色で表現することができる。（創）
鑑賞や話し合い活動を通して、作品のよさや面白さを感じ取ることができる。（鑑）

(2) 観点別評価規準

関：進んで体や手などを働かせ、材料や場所にかかわりながら活動しようとしている。
発：材料や場所の特徴をもとに、つくったり直したりしながら、自分らしい形や色を思い付いている。
創：材料の特徴を生かして工夫しながら、形や色を表している。
鑑：お互いの作品のよさや面白さを話し合うなどしながら見付けている。

(3)準備物

児童 筆記用具，軽い材料，はさみ，のり

教師 ビニル袋，スズラテープ，発砲スチロール，たまごパック，風船，セロハン，油性ペン，
ゴム，セロハンテープ，接着剤，送風機，うちわ，カード

(4)学習の展開

学習活動	指導上の留意点(支援)	評価規準	評価方法
1. 本時の課題をつかむ。	自分がつくりたい形や色をイメージできるように，前時を想起させる。		
「材料や場所から思い付いたことをいろいろ試してみよう」			
2. 材料を生かして「フワフワ浮かぶもの」をつくる。	<p>いろいろな材料があることを知らせる。</p> <p>形や色，大きさ，長さなどを工夫して，思い思いの作品ができるように，支援する。</p> <p>体育館の広さと高さを利用して，いろいろ試すように声をかける。</p> <p>おもしろい工夫や楽しい発想をしている作品を紹介し，活動のヒントにする。</p> <p>迷ってつまずいている児童には，その児童の思いをていねいに聞き，アドバイスをする。</p>	<p>関：進んで体や手などを働かせ，材料や場所にかかわりながら活動しようとしている。</p> <p>発：材料や場所の特徴をもとに，つくったり直したりしながら，自分らしい形や色を思い付いている。</p> <p>創：材料の特徴を生かして工夫しながら，形や色を表している。</p>	<p>行動観察</p> <p>制作過程</p>
3. 授業を振り返り，次時への課題をつかむ。	今日の学習を振り返ることを通して，成果と課題をつかませる。次回に必要な材料を準備することを知らせる。	鑑：お互いの作品のよさや面白さを話し合うなどしながら見付けている。	振り返りカード